

第5章

多摩市みどりと環境審議会による 市民認証（外部評価）



多摩市みどりと環境審議会による市民認証（外部評価）の報告を記載しています。

「多摩市みどりと環境基本計画」に定められた PDCA サイクルによる継続的改善を行う仕組みの一つとして、取組み状況と市内部での自己評価結果についてを、多摩市みどりと環境審議会において、施策の進捗状況及び環境改善の状況等の点検・評価を行い、市民認証（外部評価）をいただきました。

なお、平成 27 年度から実施している審議会傍聴者の方へのアンケートについて、令和元年度は審議会傍聴者の方から 1 件のご意見をいただきました。

1. 多摩市みどりと環境審議会による市民認証（外部評価）

令和 2 年 2 月 13 日

多摩市長 阿 部 裕 行 殿

多摩市みどりと環境審議会
会長 可 知 直 毅

平成 30 年度における市の環境への取組みに対する市民認証（外部評価）等について
（報告）

令和元年 8 月 1 日付 31 多環環第 185 号において依頼のありました、標記の件について、報告します。

この認証制度は、「多摩市みどりと環境基本計画」に基づき、本審議会が定期的・継続的に検証を行い、マネジメントサイクルの評価機能を担うものとして、市民認証（外部評価）をしているものです。

効率的かつ効果的に審議を行うため、今年度も、重点評価対象施策方針を選定して集中審議する手法で審議を行いました。

ついては、平成 30 年度における市の環境への取組み、施策の進捗状況及び環境改善の状況等について、重点評価対象施策方針である施策方針 H を中心に評価を行いましたので、評価結果及び評価コメントを添え、認証することとします。

～本審議会における評価結果について～

平成 13 年度から行っている本審議会の役割の新たな手法として、平成 26 年度から審議がより効率的かつ効果的になるよう初回の審議会において「多摩市みどりと環境基本計画」の短期目標の体系である 12 の施策方針から重点評価対象とする施策方針を選定することとしました。

今回選定した下記の重点評価対象にかかる施策方針の取組状況については、市の内部評価、進捗状況、管理指標等を踏まえ 5 回にわたる審議を行い、点検・評価をしました。

選定した施策方針の施策ごとに「必要性」、「取組み度合い」、「効果」の各評価項目を評価ポイント、評価基準により判断し、数値化したものを合計して施策の評価としました。

総合評価は各施策合計点数の平均点数により A～E の 5 段階で判定し、コメントを付したものです（各施策の評価ポイント・評価基準、施策方針の総合評価判定については裏面を参照）。

本審議会における評価結果については、別紙の評価シートのとおり総合評価「B」の「目標に対して進展した」と判定しました。

【重点評価対象の施策方針】

施策方針H エネルギーの有効利用

〔選定理由〕

重点評価対象とする施策方針を選定して集中審議する手法は平成 26 年度から導入しています。今年度は、「多摩市みどりと環境基本計画」の中間見直しに関する諮問があったことから全施策方針を審議した平成 28 年度を除き、5 度目の集中審議となりました。昨年度までに主な施策方針の集中審議が一巡したことから、今年度は初回に重点評価対象とした施策方針から施策方針Hを選定しました。

近年、地球規模の気象災害は年々増加していますが、この原因は地球温暖化による影響が大きいと言われています。地球温暖化対策の施策として、省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの推進を行い、限りあるエネルギー資源を有効利用していく取組みが重要です。また、次期みどりと環境基本計画では、気候変動適応計画を盛り込む予定としています。次期みどりと環境基本計画策定を見据え、SDGs や気候変動適応の観点も交えて集中審議するため、重点評価対象施策方針として選定しました。

～参考～

【各施策_評価ポイント・評価基準】

評価項目名	評価ポイント	評価基準
必要性	・市を取巻く環境や情勢に応じた取組みが展開されているか ・施策方針を具体化するために必要な取組みかどうか ・見直すべき取組みはないか	
取組み 度合い	・計画的に取組みが進んでいるか ・課題を的確に捉え、解決策を講じているか ・効果的、効率的な実施方法を行っているか	①極めて高い : 5点 ②高い : 4点 ③どちらかといえば高い : 3点 ④どちらかといえば低い : 2点 ⑤低い : 1点 ⑥ない : 0点
効 果	・目標や管理指標に対して効果が出ているか	

【施策方針_総合評価判定】※各施策の平均点数

総合評価	コメント	範囲
A	目標に対して大きく進展した	12点以上
B	目標に対して進展した	9点以上12点未満
C	目標に対してやや進展した	6点以上9点未満
D	目標に対してほぼ進展がなかった	3点以上6点未満
E	目標に対して進展がなかった	3点未満

施策方針H エネルギーの有効利用

【施策単位での評価】

施策24：省エネルギーの推進

取組み項目①：省エネルギーの実践

②：省エネルギー型の設備や機器の導入

③：みどりによる省エネルギー活動の推進、取組み項目

④：水素エネルギー利活用の推進

評価項目	点数	評価コメント
必要性	4.9	2015 年 9 月、国連総会で「持続可能な開発目標（SDGs）」が世界目標として掲げられ、環境施策は、社会・経済問題との統合的解決・向上が求められるようになった。また同年、パリ協定の発効を受け脱炭素社会に向け、世界情勢は大きく変わりつつある。気候変動は今後も激化が予想され、日本をはじめ世界各国が高い目標を掲げる中、市としてもエネルギー削減に資する施策の推進の必要性は更に高まる。 市の公共施設への高効率機器導入等については速やかに推進するとともに、情報発信の強化に努めていく必要がある。また、地域に向けた啓発や小中学校にむけた環境教育は、継続的に行うことで省エネルギーの取り組み普及に寄与する。
取組み度合い	3.6	公共施設への LED 照明、高効率空調機器等の計画的導入や ESCO 事業の活用により、多摩市が管理する公共施設においては温室効果ガス排出量を着実に減少させているものの、さらに意欲的な数値目標を設定し、改修段階や時代に合わせた取組みが必要となってくる。 市民への啓発として実施しているクールシェアは協賛企業や公共施設など地域的な取組みであり、また省エネチャレンジコンテストは市民にロールモデルとなるほか、住宅用創エネルギー・省エネルギーに資する機器への補助金を展開するなど、それぞれ一定の評価ができる。一方で、内容や参加者数、波及効果などの課題があり、周知の拡大や市民に対するインセンティブの付加など内容の工夫が必要である。グリーンカーテン事業では、小中学校に対し、過去の成果に基づく栽培方法をまとめたマニュアル作成・全校配付したほか、環境出前授業などの普及啓発を行っている。また、多摩しみどりと環境基本計画の中間見直しにより追加された、水素エネルギーの利活用の推進では、家庭用機器への補助金や燃料電池自動車の庁用車導入など普及啓発に取り組んでいる。 市の公共施設における設備導入や市民への普及啓発は取り組まれているが、今後は企業などを含めより広域的な施策展開が必要である。
効果	3.4	公共施設における設備改修等、省エネルギーの取組み効果は着実にできているものの、今後はこうした努力を継続するとともに、市民生活や民間事業者のレベルに上げていくことが期待される。現在取り組まれている普及啓発事業でも、より多くの市民が興味をもち、参加したくなるような見直しや工夫を検討していったほしい。国や都の政策動向を捉えながら、市域に向けた積極的な施策展開に発展することを期待したい。

施策 25：再生可能エネルギーの推進

取組み項目①：再生可能エネルギーの推進

②：ごみ焼却の余熱利用の推進

評価項目	点数	評価コメント
必要性	4.8	施策 24 と同様に、世界情勢を踏まえ、CO₂削減や災害に対する防災機能強化の観点から再生可能エネルギーの導入促進の必要性が高い。再生可能エネルギーの公共施設への導入や市域に向けた情報提供・普及活動を継続するとともに、費用対効果を含めた持続可能な事業としてもらいたい。また、創エネルギー機器への補助金事業に加え、集合住宅に向けた取り組みの推進も必要である。 ごみ焼却の余熱の利用価値は高く、継続的な有効活用と PR をしていく必要がある。
取組み度合い	3.7	公共施設については、大規模改修に合わせ毎年着実に太陽光発電設備を導入しているが、規模も小さく市全体としての導入効果が少ないと思われるので、今後も公共施設への再生可能エネルギーの設備設置と合わせてクリーン電気の調達など取組みを検討してほしい。 市民に向けた取組みとしては、住宅用創エネルギー・省エネルギー機器導入補助金事業があるが、太陽光発電システムの助成件数が低調であること、また余剰電力の買取保証期間の 10 年を迎える卒 FIT 問題も課題視されるなか、市民のニーズ、時代の変化に適応した支援に見直していく必要がある。また、集合住宅における環境配慮型改善提案等をまとめた啓発冊子を作成しており、今後は啓発にとどまらない取組みを期待する。 ごみ焼却時の余熱を清掃工場内や総合福祉センター、アクアブルー多摩へ供給していることは温室効果ガス削減に貢献している取組みである。
効果	3.5	公共施設における太陽光発電システム設置による効果はでているものの、全体的にまだ不十分であり、再生可能エネルギーの普及を市民レベルに広げていく必要がある。共用部分への再生可能エネルギー設備導入の合意形成が難しい集合住宅などでも、建て替え・新築時での再生可能エネルギー導入検討ができるよう、普及啓発を継続して行ってほしい。 ごみ焼却の余熱利用の効果は評価できるものの、資源化・減量化が進む中、環境に配慮した代替エネルギー等の導入の可能性も検討していく必要がある。 また、自然災害（台風・突風・竜巻等）で太陽光パネルが破損するケースも考慮し、公共施設を含め災害時の対応やメンテナンスについても検討されたい。 環境問題も深刻化する中、再生可能エネルギー分野をはじめ様々な技術革新も確実に進んでいるので、現状に満足せず、高い目標を掲げて取り組んでいくことを期待したい。

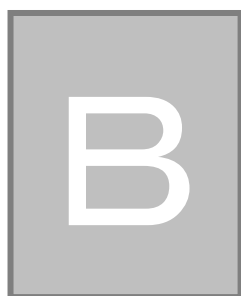
【施策方針総合評価】

施策方針H エネルギーの有効利用

○施策ごとの評価点数と施策平均点数

施策	評価項目			
	必要性	取組み度合い	効果	計
施策 2 4	4.9 点	3.6 点	3.4 点	11.9 点
施策 2 5	4.8 点	3.7 点	3.5 点	12 点
2 施策平均	11.9 点 [23.9 (2 施策合計点) ÷ 2(施策)]			

○総合評価



目標に対して進展した

(総合評価コメント)

限りあるエネルギー資源の有効活用、温室効果ガスの削減は地球温暖化対策につなげる取組みとして、近年の気候変動や生物多様性にも関わる、今後も必要性が高い重要な課題である。世界規模で国際社会共通の目標であるSDGsの推進が求められている中で、地方公共団体も重要な立場であることを認識し、早急に問題に取り組む必要がある。

「第二次多摩市地球温暖化対策実行計画【公共施設編】」では市の公共施設における温室効果ガス削減目標が掲げられており、省エネルギー型の設備や機器の導入・施設の温度管理といった取組みがされている。こちらは一定の効果をあげているが、区域施策編の策定をはじめ、民生部門の対策を積極的に行うことが求められる。そのためには市民への普及啓発活動としてイベントや補助金事業の実施で周知を行う必要がある。周知方法については国や都の動向を鑑みて適宜見直しを行うことにより、市民のニーズにマッチした形での実施が望まれる。

省エネルギー・再生可能エネルギーの推進を行い、市民・民間企業と共に多摩市全体として温室効果ガス削減活動に積極的に取り組んでいただきたい。

2. 多摩市みどりと環境審議会審議経過

回	開催日	主な審議内容
1	令和元年 8月 1日	(1)平成30年度多摩市の環境の取組みに関する市民認証(外部評価)依頼
2	令和元年10月10日	(1)平成30年度多摩市の環境の取組みに関する審議(施策方針H) (2)外部評価手法に関する審議
3	令和元年11月13日	(1)外部評価手法に関する審議 (2)次期多摩市みどりと環境基本計画の改訂に向けた新たな課題に関する審議
4	令和2年 1月15日	(1)平成30年度多摩市の環境の取組みに関する審議(評価結果まとめ) (2)外部評価手法に関する審議(意見書まとめ) (3)新たな課題に関する審議(報告書まとめ)
5	令和2年 2月13日	(1)平成30年度多摩市の環境の取組みに関する審議、外部評価手法に関する審議と市民認証(外部評価)の結果報告 (2)次期多摩市みどりと環境基本計画の改訂に向けた新たな課題に関する審議と意見報告

3. 多摩市みどりと環境審議会委員名簿

(敬称略・会長及び職務代理を除き区分内五十音順)

令和2年2月1日現在

職名	氏 名	区 分	備 考
会長	可 知 直 毅	学識経験者	首都大学東京プレミアムカレッジ特任教授
職務代理	松 井 英 輔	学識経験者	英技術士事務所長 元東京都建設局公園緑地部計画課長
委員	江 尻 京 子	学識経験者	多摩ニュータウン環境組合リサイクルセンター長
委員	篠 田 真 理 子	学識経験者	恵泉女学園大学人間社会学部准教授
委員	仙 仁 径	学識経験者	公益財団法人多摩市文化振興財団事業課学芸員
委員	池 田 和 夫	市民代表	多摩グリーンボランティア森木会
委員	伊 野 重 幸	市民代表	公募
委員	平 山 由 佳 理	市民代表	公募
委員	森 本 由 美	市民代表	多摩市自治連合会
委員	山 内 二 紀	市民代表	公募
委員	宗 野 喜 志	関係行政機関職員	東京都環境局多摩環境事務所長
委員	中 尾 信 行	関係行政機関職員	東京都西部公園緑地事務所工事課長
委員	横 田 信 博	関係行政機関職員	東京都地球温暖化防止活動推進センター長
委員	高 無 保 雄	事業者代表	多摩商工会議所常議員
委員	福 地 恵 子	事業者代表	東京ガス株式会社多摩支店
委員	小 島 豊	行政委員会	多摩市農業委員会委員
委員	谷 代 美 保 子	行政委員会	多摩市教育委員会委員

